

平成26年度（第37期）事業報告書

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。ここに当社第37期事業概要についてご報告申し上げます。

当期における我が国経済は安倍政権発足以来2年あまり、異次元の超金融緩和策で物価上昇率への期待を高め財政出動で景気を下支えの成長戦略を駆使し、一部規制緩和と民間企業への賃上げ要請で長引いたデフレ脱却へのアベノミクス効果の総仕上げを図っております。期初には消費税率5%から8%への引き上げによる下押し影響で、もたついたものの日経平均株価が2万円台に乗せた今、失われた四半世紀から人口減や少子高齢化の逆風からのデフレ脱却と正味資産の国富を再び拡大推進すべく生産性拡大や消費拡大の規制緩和改革も待たなしと思料しております。

今後は、消費税率再引き上げ延期による経済効果向上と『2020年東京オリンピック開催』に向けた経済、産業、スポーツ、文化振興などの分野での盛り上がり期待されております。

全国的に中心市街地が衰退する中、ここ中核市高槻は賑わいある“活力あるまちづくり”と“住みやすさナンバー1のまちづくり”をめざし、平成21年12月に国（内閣府）の認定を受けた「高槻市中心市街地活性化基本計画」に基づく都市機能再生事業が活発化しJR高槻駅北東地区開発事業の「MUSEたかつき」の街開き整備事業は完工し新たな賑わいで躍動しております。JR高槻駅乗降客はJR西日本管内でも1日12万人超と屈指の利用客があり、狭隘な駅構内ホームの安全安心の新快速専用ホーム新設工事も平成28年3月の供用をめざし進捗状況は順調であります。

高槻市内初のインターチェンジ開通に向けた新名神高速道路建設工事は最盛期を迎えており、高速道路へのアクセス道路整備事業は、近隣商業都市圏を結ぶ交通網の充実として期待されております。文化振興策として「市民とともに育てつづける安満遺跡公園」が始動し活力ある中核市高槻として「住みやすさNo.1」をめざした次なる中心市街地活性化施策への期待が膨らんでおります。

当社は、昭和53年5月4日に高槻市唯一の第三セクターとして国鉄高槻駅南再開発事業の中核会社として設立され、平成26年度は創立37周年を迎え微力ながら高槻市中心市街地活性化協議会事務局として中心市街地都市機能の増進を推進する者としてPR活動に邁進して参りました。

主要業務であるJR高槻駅前広場の管理受託業務、再開発ビルのグリーンプラザたかつき1号館、3号館のビル管理業務、JR高槻駅南地区周辺地域の駐輪施設事業、損害保険会社7社の代理店業務及び周辺関連業務を長年に亘り地道に堅実に積み上げた信頼と信用を培って参りました。これを基に平成16年9月16日開設の官・民・事業者の三者協働による「駐輪機設置による駐輪施設」事業は、安全安心の「まちづくり」と共に清潔で整然とした駐輪環境で快適な駅前景観を回復し美観維持管理は、地域社会に貢献すると共に、営業基盤拡大による収益力強化が図れております。

以上の状況下、平成26年度（第37期）事業の業務内容について、ご報告申し上げます。

JR高槻駅南人工デッキは高槻市が平成23年度から美装化・バリアフリー化工事に着手し、エレベーター、エスカレーター、多機能トイレの設備整備、南人工デッキの美装化工事と上屋設置工事に加え、当期はイベントスペース、1階市バス停留場一帯の橋脚補強改修工事が本格化して狭くなった駅前広場の乗降客と自転車往来混雑が顕著化して参りましたが、市民の皆様方が安全安心の利用ができるよう適切な維持管理運営に努めております。

JR高槻駅南駅前周辺地域の放置自転車・不法駐輪追放撲滅対策としての官・民・事業者による三者協働の「駐輪機設置による駐輪施設」事業は平成16年9月16日のオープン以来10年半を

経過した平成27年3月末現在、駐輪機設置台数1043台(内バイク115台)で管理運営され、中核市高槻の玄関口にふさわしい駅前景観環境と清潔で整然とした駐輪環境で美観維持管理されております。JR高槻駅南人工デッキ美装化改修工事では設置駐輪機の一時撤去を余儀なくされ、市民の皆様の安全安心の往来と駐輪機利用対応に苦慮して参りました。本年度の駐輪機延利用台数は120万台の高利用率を堅持して開設以来の駐輪機延利用総累計台数は1,238万台に達しました。「駐輪機設置による駐輪施設」事業は安全安心のまちづくりとして、整然とした駐輪環境と清潔な駅前景観美化向上に貢献しております。

当社は高槻市唯一の第3セクターとして、これまで何度も会社存亡の危機に直面し役職員一丸となって顧客ニーズと環境変化に対応しながら厳しい難局を乗り越って参りました。今後も役職員一同、着実に一步ずつ長年培ってきた信頼と信用の営業基盤の拡充を図り、より強固な収益基盤となるよう社業に専念し精進を重ね、地域社会の優良企業として社会貢献を果たして参ります。

以上